

第14回 学生向けセミナー開催報告

研究教育委員会 森 剛

第14回 学生向けセミナーを下記のとおり開催いたしました。

日 時：2024年8月10日（土）

場 所：東京慈恵会医科大学附属病院 高木2号館

テーマ：臨床の現場を知ろう

- (1) 一般撮影
日本医科大学千葉北総病院 阿部 雅志
- (2) CT撮影
帝京大学医療技術学部 小林 隆幸
- (3) MRI撮像
東京慈恵会医科大学附属病院 北川 久
- (4) 消化管撮影
東海大学医学部付属八王子病院 伊藤 雪乃
- (5) 乳腺撮影
国立病院機構 埼玉病院 皆川 梓
- (6) 超音波検査
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 影山 耕平
- (7) これからの放射線技師の働き方
東京臨海病院 木村 慎一
- (8) 子育て世代の働き方
東大和病院 小野 賢太
西東京中央総合病院 鈴木 真樹

参加者：会員1名、学生非会員18名
計19名

これまで研究教育委員会で開催している学生向けセミナーは大学等の学校施設での開催でしたが、今回第14回学生向けセミナーでは初めて病院施設で開催しました。連休の初日に酷暑厳しい中、学生さんは18名が参加してくれました。施設は昨年よりも少なく3校からの参加があり、男女比は3（男子）：15（女子）でした。来年度最終学年になる学生さんが最も多く参加されていました。

国家試験に合格することを前提として、様々なモダリティから診療放射線技師としてこれは知っておいて欲しいという思いを込めての内容でした。モダリティを共通して「解剖」「コミュニケーション能力」「通常と異なる画像への気付き」などの重要性が多く語られていました。また、タスクシフトや産休育休に関する法改正によって我々診療放射線技師の働き方も大きく変わってきております。静脈路確保および造影剤の注入を先駆けて行っているご施設から「これからの放射線技師の働き方」、現在小さなお子さんを育てている子育て世代真っ只中の男性技師女性技師それぞれの視線から「子育て世代の働き方」をお話ししていただきました。学生さんたちはどの講演についても真剣に耳を

傾け、ノートに講師が話をした内容をびっしり書き込んでいたのが印象的でした。

今回受講してくれた学生さん達は向上心も高い方が多いと推察します。このような学生さんが将来私たちの業界の領袖となってくれることと思います。まずは国家試験突破へ向けて頑張ってください。

